

2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
 コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部門統括（氏名） 松本 亜紀子（TEL）042-363-1039
 半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	779	△2.0	66	422.4	90	182.3	63	282.7
2025年6月期中間期	795	△1.7	12	△88.2	31	△72.0	16	△78.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年6月期中間期	12.65		—					
2025年6月期中間期	3.31		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	7,810	7,169	91.8
2025年6月期	8,058	7,485	92.9

（参考）自己資本 2026年6月期中間期 7,169百万円 2025年6月期 7,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年6月期	—	0.00			
2026年6月期（予想）			—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	6.9	298	252.0	320	167.2	220	—	43.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期中間期	5,300,000株	2025年6月期	5,300,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年6月期中間期	261,772株	2025年6月期	279,772株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年6月期中間期	5,026,587株	2025年6月期中間期	5,017,616株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間貸借対照表関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、月によって多少の変動はありましたが平均すると横ばいの緩やかな動きとなりました。

海外の紛争によるエネルギー価格上昇や米国による高関税問題による物価上昇も落ち着きを見せて、日本国内のインフレ率は食料品を除くと低下してきましたが、個人消費は盛り上がりには欠ける展開となりました。企業の設備についてはシステム投資が高水準で推移していて、機械設備に関しては老朽設備の入替えや自動化などは一定量ありましたが力強い動きとはなりませんでした。

国内製造業については、AIの普及に伴って今後ますます進展すると予想される高スペック半導体需要は旺盛で、半導体製造装置も一時的な停滞から回復してきました。昨年の米国による高関税措置により減少していた米国向け輸出も回復しだして、様子見をしていた生産も回復し、自動車や金属製品、機械設備なども戻してきました。特に輸出比率の高い大手製造業は、為替の円安傾向が継続していることや欧米の金融緩和による景気下支えにより、輸出が回復傾向になるなど業績面で回復してきました。一方で日本国内での事業展開が中心の中小製造業は、受注量が十分に確保できていない企業が多く、景況感は悪化してきています。

このような状況のなかコレットチャック部門では、半導体製造装置に絡む部品や関税問題が落ち着いてきた自動車、海外輸出にけん引された工作機械などが多少動き、11月はやや受注が増えましたが12月は減少しました。国内は複雑な部品加工向けのコレットチャックの比率が多くなっていますが受注量は低水準となり、海外は中国・韓国中心に半導体検査部品加工用のコレットチャックが増加しました。合計すると販売比率の高い国内向けが減少したことで、受注は前期に比較して減少しました。

この結果、当セグメントの中間会計期間の売上高は533,971千円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益は189,192千円(前年同期比2.1%減)となりました。

切削工具部門では、量産部品加工から単品加工まで多様な切削加工で使用する工具を扱っているため、様々な業種から受注が少しずつ入ってきます。昨年末にかけて日本国内の中小製造業に仕事が多少出て、当社の受注も微増となりました。

別注切削工具の製作・再研磨は、加工する形状に合わせて工具を成形するニーズを捉えて一定の受注は確保したものの、国内製造業の設備稼働率はそれほど高まらず、売上高は77,311千円(前年同期比3.7%増)となりました。

市販切削工具の再研磨は、様々な業種の切削加工で使用されている工具の再研磨ですが、当社の顧客層の大部分を占める中小製造業において設備稼働率が高まらなかったことで、当社の受注も横ばいとなりました。売上高は160,915千円(前年同期比0.6%減)となりました。

この結果、当セグメントの中間会計期間の売上高は238,227千円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は57,460千円(前年同期は7,272千円の損失)となりました。

自動旋盤用カム部門では、現存するカム式自動旋盤で加工する量産部品加工が一定量あり、当社の受注は増加しました。

この結果、当セグメントの中間会計期間の売上高は7,569千円(前年同期比14.7%増)、セグメント損失は736千円(前年同期は1,957千円の損失)となりました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は779,767千円(前年同期比2.0%減)、営業利益は66,468千円(前年同期比422.4%増)、経常利益は90,222千円(前年同期比182.3%増)、中間純利益は63,609千円(前年同期比282.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、4,504,916千円(前事業年度末は5,347,399千円)となり842,483千円の減少となりました。これは、前払費用が14,792千円増加しましたが、現金及び預金が726,616千円、受取手形及び売掛金が48,893千円、未収還付法人税等が45,911千円、仕掛品が14,513千円、原材料が4,146千円減少したこと等によるものであります。

また、当中間会計期間末における固定資産の残高は、3,305,349千円(前事業年度末は2,711,190千円)となり594,158千円の増加となりました。これは、繰延税金資産が55,321千円、無形固定資産が5,596千円減少しましたが、

投資有価証券が631,978千円、建物及び構築物が11,630千円、長期前払費用が7,860千円、機械装置及び運搬具が3,323千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当中間会計期間末における総資産は、7,810,266千円(前事業年度末は8,058,590千円)となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、176,177千円(前事業年度末は107,774千円)となり68,403千円の増加となりました。これは、買掛金が2,731千円減少しましたが、未払金が32,442千円、その他が19,598千円、未払法人税等が15,514千円、役員賞与引当金が3,580千円増加したことによるものであります。

また、当中間会計期間末における固定負債の残高は、464,120千円(前事業年度末は465,469千円)となり1,348千円の減少となりました。これは、退職給付引当金が573千円増加しましたが、長期未払金が1,469千円、その他が452千円減少したことによるものであります。

この結果、当中間会計期間末における負債合計は、640,298千円(前事業年度末は573,243千円)となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は、7,169,967千円(前事業年度末は7,485,347千円)となり315,380千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が91,064千円、資本剰余金が19,803千円増加し、自己株式の減少が12,164千円ありましたが、利益剰余金が438,413千円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度と比べ174,549千円増加し、607,938千円となりました。なお、当中間会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、319,818千円の増加(前年同四半期は92,378千円の増加)となりました。これは、仕入債務の増減額が2,731千円ありましたが、税引前中間純利益が90,203千円、減価償却費が49,866千円、売上債権の増減額が48,893千円、法人税等の還付額が45,047千円、未払金の増減額が31,566千円、その他が25,157千円、利息及び配当金の受取額が21,768千円、棚卸資産の増減額が19,268千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、355,322千円の増加(前年同四半期は266,571千円の増加)となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が500,000千円、有形固定資産の取得による支出が44,148千円、無形固定資産の取得による支出が1,820千円ありましたが、定期預金の増減額が901,166千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、500,592千円減少(前年同四半期は501,177千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額が500,140千円、リース債務の返済による支出が452千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2025年8月8日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,676,064	3,949,447
受取手形及び売掛金	277,965	229,071
製品	2,864	2,256
原材料	43,552	39,405
仕掛品	272,876	258,362
前払費用	3,540	18,332
未収還付法人税等	45,911	—
その他	25,073	8,338
貸倒引当金	△448	△297
流動資産合計	5,347,399	4,504,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	195,501	207,132
機械装置及び運搬具(純額)	266,787	270,110
土地	333,534	333,534
その他(純額)	6,185	6,533
有形固定資産合計	802,009	817,311
無形固定資産	50,728	45,132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,560,889	2,192,867
長期前払費用	2,405	10,266
繰延税金資産	295,055	239,734
その他	559	759
貸倒引当金	△457	△723
投資その他の資産合計	1,858,452	2,442,905
固定資産合計	2,711,190	3,305,349
資産合計	8,058,590	7,810,266
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,069	15,337
未払金	60,331	92,774
未払法人税等	—	15,514
役員賞与引当金	—	3,580
その他	29,373	48,971
流動負債合計	107,774	176,177
固定負債		
長期末払金	92,370	90,900
退職給付引当金	372,004	372,577
その他	1,095	642
固定負債合計	465,469	464,120
負債合計	573,243	640,298

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	365,296	385,099
利益剰余金	6,812,323	6,373,910
自己株式	△189,075	△176,910
株主資本合計	7,281,044	6,874,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204,302	295,367
評価・換算差額等合計	204,302	295,367
純資産合計	7,485,347	7,169,967
負債純資産合計	8,058,590	7,810,266

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	795,563	779,767
売上原価	611,501	533,851
売上総利益	184,062	245,916
販売費及び一般管理費	171,337	179,447
営業利益	12,724	66,468
営業外収益		
受取利息	126	5,101
有価証券利息	7,609	8,568
受取配当金	5,999	7,961
売電収入	446	387
作業くず売却益	1,043	721
その他	4,829	1,013
営業外収益合計	20,053	23,753
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	821	—
営業外費用合計	821	—
経常利益	31,956	90,222
特別利益		
固定資産売却益	95	—
特別利益合計	95	—
特別損失		
固定資産除却損	0	19
特別損失合計	0	19
税引前中間純利益	32,052	90,203
法人税、住民税及び事業税	413	12,185
法人税等調整額	15,017	14,408
法人税等合計	15,430	26,593
中間純利益	16,622	63,609

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	32,052	90,203
減価償却費	82,909	49,866
長期前払費用償却額	580	427
株式報酬費用	58,542	9,164
有形固定資産除却損	0	19
株式報酬費用消滅損	821	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	94	114
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,510	3,580
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△28,465	573
受取利息及び受取配当金	△13,735	△21,631
有形固定資産売却損益 (△は益)	△95	—
売上債権の増減額 (△は増加)	14,463	48,893
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,327	19,268
仕入債務の増減額 (△は減少)	△858	△2,731
未払金の増減額 (△は減少)	△15,858	31,566
長期未払金の増減額 (△は減少)	△47,300	△1,469
その他	28,132	25,157
小計	104,445	253,002
利息及び配当金の受取額	13,264	21,768
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△25,331	45,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,378	319,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	1,036,146	901,166
投資有価証券の取得による支出	△676,503	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△84,597	△44,148
有形固定資産の売却による収入	90	—
無形固定資産の取得による支出	△8,211	△1,820
その他	△353	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	266,571	355,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△500,725	△500,140
リース債務の返済による支出	△452	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,177	△500,592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△142,227	174,549
現金及び現金同等物の期首残高	678,924	433,389
現金及び現金同等物の中間期末残高	536,697	607,938

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年9月21日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	501,652	100	2024年6月30日	2024年9月25日

当中間会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年9月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	502,022	100	2025年6月30日	2025年9月30日

(中間貸借対照表関係)

※ 中間会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当中間会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
受取手形	— 千円	5,120千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	552,561	236,399	6,602	795,563	—	795,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	552,561	236,399	6,602	795,563	—	795,563
セグメント利益又は損失(△)	193,291	△7,272	△1,957	184,062	△171,337	12,724

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当中間会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	533,971	238,227	7,569	779,767	—	779,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	533,971	238,227	7,569	779,767	—	779,767
セグメント利益又は損失(△)	189,192	57,460	△736	245,916	△179,447	66,468

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	552, 561	74, 562	—	74, 562	6, 602	633, 726
その他	—	—	161, 837	161, 837	—	161, 837
顧客との契約から生じる 収益	552, 561	74, 562	161, 837	236, 399	6, 602	795, 563
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	552, 561	74, 562	161, 837	236, 399	6, 602	795, 563

当中間会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	533, 971	77, 311	—	77, 311	7, 569	618, 852
その他	—	—	160, 915	160, 915	—	160, 915
顧客との契約から生じる 収益	533, 971	77, 311	160, 915	238, 227	7, 569	779, 767
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	533, 971	77, 311	160, 915	238, 227	7, 569	779, 767